

大学病院市民ギャラリーで創作切り絵展
緻密で繊細な脳機能障害リハビリ作品の数々

徳島大学病院では院内スペースの一部を活用した「市民ギャラリー」を設けて、無料で作品発表の場を提供しています。

一般公募第1回の今回は、自動車事故で脳に重度の後遺症が残った福永喜久夫さん（58歳）の作品展で、3月21日（水）から6月20日（水）までの3ヶ月間開催します。

（報道概要）

福永さんは平成13年に出勤途中の交通事故で脳の一部を損傷し、失語症や右半身麻痺の後遺症のリハビリのため、切り絵やグラスデコ作成に取り組んできました。

「細かい作業には神経を使い大変な労力が必要ですが、同じように障害を持つ人たちに元気と勇気を届けられる作品を作りたい」と、意欲的に作品づくりに取り組んでいます。

また、本院ではこの市民ギャラリー利用について随時募集していますので、併せてご案内いただけましたら幸いです。

この件について、報道下さいますようお願いいたします。

お問い合わせ先

部局名 病院

責任者 病院長 安井 夏生

担当者 病院総務課広報・企画部門
西野 陽子

電話番号 088-633-7463

メールアドレス ynishino@jim.tokushima-u.ac.jp